

雲 北陵月報

No. 435

令和3年11月30日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト全国大会初の金賞！

合唱部 NHK全国学校音楽コンクール優良賞！

写真部 全国高校総合文化祭2年連続出品 決定！

吹奏楽部

第34回全日本マーチングコンテスト全国大会

時 11月21日
於 大阪城ホール

本校吹奏楽部は7大会連続9度目となる全国大会に出場した。「全国大会金賞」を目標に掲げ、本年度のテーマである「猛進」を胸に、部員達は日々の地道な練習を積み重ね大会に臨んだ。本番では島根県及び中国支部の代表として、凛とした姿で立派な演奏演技を披露し、会場から大きな拍手をいただく中、念願の金賞を受賞することができた。

これも偏に様々な面で献身的にサポートいただいた保護者の皆様、応援してくれる卒業生、ご支援をいただいている地域の皆様のお蔭と感謝しております。本当に有難うございました。

指し、変わらず精進していきたいと思
います。
(副顧問 竹内康貴)

合唱部

第88回NHK全国学校音楽コンクール全国大会

時 11月6日
於 府中の森芸術劇場

NHK全国学校音楽コンクール全国大会が行われた。全日本合唱コンクールの全国大会から1週間という過酷なスケジュールであったが、生徒達は集中力を切らすことなくよく頑張った。ここまでの道のりは決して平坦ではなかったが、憧れの全国の舞台で演奏できた時には、頂上から絶景を見渡すような、そんな清々しい気持ちであったようだ。3位以内の入賞は果たせなかったが、生徒達はやり切ったという笑顔の表情を見せてくれた。

昨年は実施が難しかったコンクールだが、今年は制限がありながらも多くの方々のお蔭で開催していただくことができた。ご尽力いただいた関係の皆様がこの場を借りて御礼申し上げたい。
(顧問 齋藤茉耶花)

第74回全日本合唱コンクール全国大会

時 10月30日
於 三宮 総合文化センターグランドシアター

全日本合唱コンクールの全国大会が行われた。当日は会場まで聴きに來てくださった方々、またライブ配信も行われ、より多くの方に生徒達の様子をご覧いただけたことを嬉しく思う。結果は惜しくも銅賞であったが、生徒達はここまでの過程で、仲間との絆を深めたり、目標に向かって諦めずに努力し続ける精神力など、結果よりも大切なことを学べたと感じている。

仲間と合唱することを通して得た、目には見えない無数の宝物を無駄にはせず、今後の生活に生かしてくることを期待している。

コロナウィルスによって暗く寒い冬のようだが、温かい光が差するような音楽を届けられるように努力していきたい。
ここまで支えてくださった皆様には感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。
(顧問 齋藤茉耶花)

写真部

第49回島根県高等学校写真展審査会

「1・2年の部」「3年の部」3席W受賞！

2年連続14回目となる全国高校総合文化祭出場決定！！

時 11月18日
於 島根中央高校

今年度の島根県高校写真展審査会が行われた。本校からは20点出品し、「1・2年の部」3席に伊藤美希(21期)が受賞し、来年東京で開催される全国高



「もっと自由に」伊藤美希
等学校総合文化祭への出品権を獲得した。「3年の部」では、3席に荒木孝太(32期)が入賞し、有終の美を飾った。これも日頃から支えてくださっている皆様のお蔭であり、心より感謝している。

「1・2年の部」

〈3席〉「もっと自由に」 伊藤美希

〈3席〉「反転世界」 荒木孝太

奨励賞

「キメ顔」

原 未空(15期)

「パンの素」 高橋詩織(15期)

「潜む」 高梨優汰(23期)

「遊ぼうよ！」 荒谷岳海(13期)

「光の指すほうへ」 栗原佑実(11期)

美術部

令和3年度人権啓発ポスターコンクール
石田尋南(26期)が最優秀賞受賞！

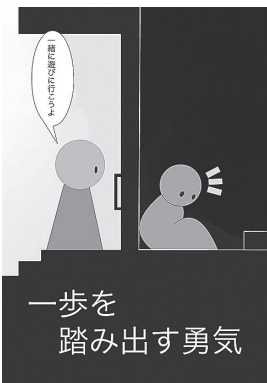
島根県が主催する人権啓発ポスターコンクールに応募したところ、石田さんの作品が高校生の部において最優秀賞を受賞した。その他の結果は次の通り。

入選 曾田陽向(26期)・森山百合香(26期)

有藤あかり(15期)・秋国由美(16期)

飯島 楓(16期)・横田ユミ(16期)

(顧問 石倉 正)



一歩を踏み出す勇氣

石田さんの作品

卓球部

JOCジュニアオリンピックカップ
2021年全国日本卓球選手権大会(カデットの部)

時 10月29～31日
於 スカイホール豊田

〈男子ダブルス〉
ベスト8

三好蒼空(中1)・金丸 陽(中1) 組
〈男子シングルス〉
2回戦敗退 三好蒼空

○大会総評



男子ダブルスで本校としては初めてベスト8(ランキング7位)に入賞することができた。準々決勝までに難局が幾度となくあったが、勝負所で持ち前の粘り強さを発揮し、勝ち進むことができた。今後の練習で課題を克服し、来年はシングルス、ダブルスの2種目で入賞できるように頑張りたい。



入賞した三好蒼空(左)・金丸 陽組

(顧問 古瀬泰之)

令和3年度島根県高等学校新人卓球大会

時 11月4～6日
於 島根県立体育館

〈男子団体〉優勝(5年連続12回目)
〈決勝リーグ〉

本校 3-0 松江商業
本校 3-0 松江工業
本校 3-0 松江北

本校 3-0 明誠
本校 3-0 松徳学院

※中国選抜出場権を獲得

〈男子シングルス〉

優勝 杉浦大和(2-2北陵)
2位 王 翊翔(2-2西漳)

○大会総評

団体戦、個人戦ともに優勝することができたが、全国大会で勝ち上がるためには、まだ技術の正確性や安定性が足りない。日々の練習で課題を克服していき



団体優勝メンバー

(顧問 古瀬泰之)

バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール選手権大会
兼 ウインターカップ2021 島根県予選会

時 10月28日～11月2日
於 カミアリーナ

【男子】

一回戦 シードにより不戦勝

二回戦 本校 214-28 江津工業

準々決勝 本校 110-50 矢上

準決勝 本校 79-72 松江東

決勝 本校 77-85 松江西

準優勝

○大会総評

今シーズン最後の県大会決勝は、県新人戦、県総体と同じく松江西高校との対戦となり、三年生を中心にチーム

一丸となった戦いをみせたが惜しくも決勝敗退となった。

今年のチームは、県新人戦、県総体を優勝してインターハイを経験した。三年生が多く残る布陣で今年最後の県大会制覇に挑んだが、全試合を通して試合の入り方がうまくいかず、追いかける展開が多かった。

勝つて有終の美を飾ることはできなかったが、最後まで『ひたむきな心』の精神で戦いぬくことができたことは財産として大事にしたい。大きく成長してくれた三年生達には感謝している。また出雲北陵での経験を糧に更なる活躍を期待したいと思う。

新チームではこの悔しさを晴らせるよう、良いシーズンスタートができることを目標に挑戦し続けたい。

最後になりましたが、初戦から決勝戦まで理事長先生、校長先生をはじめ、学校教職員の皆様、保護者の皆様、O Bや女子バスケットボール部、その他たくさんの方々から声援をいただき誠に有難うございました。

(顧問 手島幹人)

【女子】

2回戦 本校 91-42 安来

準々決勝 本校 61-82 明誠

ベスト8

○大会総評

明誠高校との対戦では、序盤はリードする場面もあったが、後半得点することができず、悔しい敗戦となった。単調な攻撃や正確性のないパス、圧力のない守りが敗因となったように思う。この反省を生かし、新人戦に臨みたい。

(顧問 篠原勝利)

女子バレーボール部

島根県高等学校バレーボール選手権大会

時 11月5日

於 松江市総合体育館
一回戦 本校 0-2 浜田高校
(顧問 椿 英史)

ソフトテニス部

令和3年度島根県高等学校ソフトテニス新人戦

時 10月29～31日

於 石見海浜公園テニスコート

【男子】

団体戦3位 中国新人大会へ出場

2回戦 本校 ③-0 松江北

準々決勝 本校 ②-1 津和野

ベスト4リーグ

本校 ②-1 出雲工業

本校 1-② 松江工業

本校 1-② 浜田

個人戦 5ペアが上位大会へ進出

2位 木村蔵人(22)・青木快生(24)

B 8 高橋拓真(23)・堀江結太(13)

原 優翔(21)・陰山晃成(22)

B 16 川角悠太(21)・岩崎遥平(25)

B 32 神在俊輔(22)・江角虎哲(22)

○大会総評

新チームでの初めての団体戦であったが、悔しい結果となった。全国選抜への可能性はなくなってしまうが、中国大会で優勝できるよう頑張りたい。

(顧問 佐々木雄志)

【女子】

部員3名が大会に出場した。神田桜奈(15)・竹下綾香(15)ペアがベスト32という結果であった。次の県インドア大会に向けて頑張っていきたい。

(顧問 金森 快)

テニス部

全国選抜高校テニス県予選

時 10月30日
於 浜山公園

〔男子団体〕

1 回戦

本校 ⑤-0 松徳学院

2 回戦

本校 1-③ 大 社

○大会総評

中国大会出場を目指し、目的を持った主体的な練習、練習試合、市民大会を通して頑張ってきたが、大会にピークを持っていけなかった私に責任があると思う。しかし、成長の跡が見られ、次のシーズンではもっともつと力をつけて躍進したい。
(顧問 石川剛旦)

吹奏楽部

第29回2000人の吹奏楽

時 11月6日
於 出雲ドーム

本校としては11大会連続12回目の単独演奏出演であった。昨年はコロナウイルス感染症で中止となったことや初めての11月開催ということもあり、新たな気持ちでコンサートに臨むことが出来た。今月末に行われる全国大会を前にしての演奏会であり、部員達は一丸となって練習に取り組み、本番では立派なパフォーマンスと演奏を披露した。

全国大会では最高の演奏演技ができるよう、更に努力を重ねていきたい。

(副顧問 竹内康貴)

インターアクトクラブ

高瀬川クリーン作戦

時 11月7日
於 出雲市内高瀬川流域

出雲南ロータリークラブが主催する

「高瀬川クリーン作戦」があり、インターアクトクラブ生徒5名が参加した。

上流で川の水を止めて、足首くらいまで水位が下がったところで、川底清掃をした。空き

ビン・空き缶・乾

電池などの小さなゴミから、流

木、壊れた傘、衣

類といった大きな

ゴミまで、2

〜3キロほどの

清掃区域の中で

多くのゴミが集

まった。

毎年恒例の活動ということもあり、

ゴミの量は徐々にではあるが少なくな

ってきている。

2時間ほどの活動だったが、終えた

時は気分も清々しくなった。

(顧問 尾添喜行)



美術部

令和3年度ポイ捨て禁止ポスターコンクール

三輪泉(36年)が大賞受賞!

出雲市ポイ捨て禁止推進協議会が主催するポイ捨て禁止ポスターコンクールに応募したところ、三輪さんの作品が

高校の部において大賞を受賞した。その他の結果は次の通り。

優秀賞

天喰龍生(36年)
藤原あやか(36年)

(顧問 石倉 正)



三輪さんの作品

第27回出雲北陵高等学校英語レシテーションコンテスト

時 11月3日
於 中高棟北陵ホール



出雲市立第三中学校の皆さん

今年で27回目となる本校主催のレシテーションコンテストが開催された。今年度は小学生の部14名、中学生の部29名の参加があり、島根県立大学准教授のクリス・ラング先生をお迎えし、厳正なる審査が行われた。団体賞に2年連続で出雲市立第三中学校が選出された。入賞者は次の通り。

*団体賞
出雲市立第三中学校(2年連続2回目)

*個人賞
(最優秀賞)
小学校の部 高野真俐華(大津小6年)

中学校の部
(優秀賞)

春木柚葉子(島大附属8年)

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

小学校の部

中学校の部

改組新第8回日展

美術・CGデザインコース主任
飯塚康弘教諭 日展入選!

時 10月29日～11月21日
於 国立新美術館

全国から1万1千点以上の作品応募があり、その中から第二科(洋画)の部で飯塚教諭の作品「夕刻の階段」が昨年に続き入選を果たした。ご功績を讃えたいと思います。



「夕刻の階段」

令和3年度産業教育功労者表彰



去る11月17日(水)、松江市のサンラポーむらくもにおいて、令和3年度産業教育功労者表彰式が行われた。本校からは陶山浩史教諭が産業教育功労者として表彰された。ご功績を讃えたいと思います。

企業ガイダンスを開催

11月15日(月)、高校2年生を対象とした企業ガイダンスを行った。地元企業

25社にご来校いただき、生徒達は興味のある企業を4社選び、職種の説明を受けた。企業側から事業内容を聞き、生徒も質問をどんどん投げかける姿が、各ブースで見られた。今後に向けて大変有意義なガイダンスとなった。



避難訓練

昨年に引き続き、火災を想定した避難訓練を10月29日(金)に実施した。昨年と出火想定場所が違うこともあり、避難までの所要時間はやや長かったが、グラウンドへ全校生徒が無事に避難した。また、避難確認後は、防災設備会社の職員の方に消防設備等のお話をさせていただき、災害への備えについて考える良い機会となった。



公開授業(新任者研修)

去る10月28日(木)、本校の新任教員である6名の先生(中澤悟《理科》・小田



川純《美術》・高橋弘子《国語》・和田拓真《体育》・佐藤壮泰《数学》・鉄橋和歩《社会》による公開授業が行われた。

公開授業は、教科、学年等の垣根を超えて、授業姿勢及び技術・工夫など、授業力の向上に向けて教科指導を研鑽する目的で毎年実施されている。今年度は全教員がそれぞれ6つの授業に分かれて参観した。

6名の新任教員は、いずれも緊張感を持ちながらも緻密に計画立てられた授業を展開した。授業は、教室、美術室、体育館などで行われ、その後、授業者を交えて講習会を開き、意見交換を行った。



中学校

卓球部

第57回出雲地区中学校新人卓球大会

時 11月10日
於 カミアリーナ

(男子シングルス)

3位 金丸 陽(中1西)
ベスト8 三好蒼空(中1龍)



○大会総評
上記の結果により、12月に開催される県大会への出場権を獲得した。今大会で見つかった課題を克服し、次の大会で優勝できるように頑張っていきたい。(顧問 相場翔太)

バスケットボール部

第66回出雲地区中学校

新人バスケットボール大会

時 11月11・12日

於 鹿島総合体育館

一回戦 本校 57-62 湖北

○大会総評

前半は終始本校ペースで20点差をつける時間帯もあったが、そこで気が緩んだのか、ミスが重なり相手の猛追を許し逆転での敗戦となった。来年の県総体でリベンジしたい。ご声援有難うございました。(顧問 多々納厚比古)



中学1年生 ぶるやう学習

11月4日(木)に中学1年生18名が、ふるさと学習の一環として松江方面に出かけた。松江城・小泉八雲記念館・武家屋敷を中心に調べ学習を行い、班によっては松江の神社を巡ったり、松江歴史館を訪れたりした。通り雨もあったが、すぐに晴れ間が広がり、充実した研修になった。



中学2年生 職場体験学習

11月4日(木)、出雲市内13事業所のご協力により職場体験学習を実施した。体験に向けて、働くことの意義や、興味のある仕事について学習を行った。また、生徒自身で電話をかけて事前打ち合わせをするなど実践的な活動もあった。

体験当日は、慣れない



ハートピア出雲にて

い環境に緊張や不安を感じながら、真剣な眼差しで熱心に仕事と向き合っている様子だった。身をもって働くことの大変さややり甲斐、楽しさを学ぶことができ、貴重な体験をさせていただいた。お世話になった事業所の皆様に感謝申しあげます。



ファーマシー薬局まごころにて

中学3年生 英語研修「バーチャル異文化体験」



10月25日(月) 27日(水)の日程で英語研修を実施した。参加者は中学3年生35名。株式会社ISAより外国人講師2名を派遣していただき、3日間とも1～5限の時間で研修を受けた。

この研修の見所は、やはりオンラインによる疑似ホームステイ体験である。パソコンを用いてニュージーランドに住んでいる現地の方と通信を接続。実際に家の中を案内してもらいながら、ホームステイをした際

に役立つ英語のフレーズを教えた。また、その際に家の作りや家の中の生活の違いなども知ることができ、異文化を味わうことができた。研修の最後にはクラス全体の前でスピーチを行った。



英語力の向上はもちろんのこと、研修の成果としてジェスチャーなどの表現力も向上していた。この研修をきっかけに、英語や海外により興味をもってもらいたい。



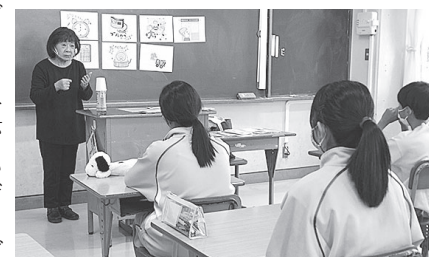
第2回校外講師特別講座

地域貢献活動

11月17日(水)、校外から6名の講師の先生方をお迎えし、1年生は高齢者疑似体験とデジタルサポート体験を、2年生は点字と手話の体験学習



をそれぞれ2班に分かれ2講座ずつ受講した。講師の先生方は出雲市総合ボランティアを窓口

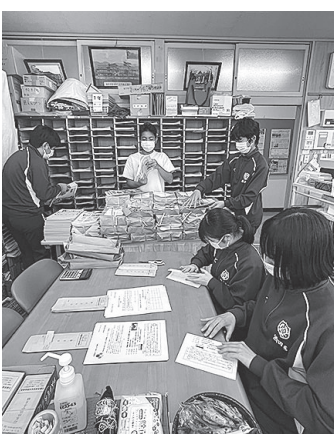


に、出雲社会福祉協議会、点字ボランティア「ブライユ」、いずれもデジタルサポート、出雲市福祉推進課の皆様にお世話いただき、地域の福祉への理解を深め、共存していく必要性や課題を学んだ。

また3年生は1組が川跡、2組は鳶巣の両コミュニティセンターへ出向き、それぞれ班に分かれて清掃奉仕活動を行った。

講座の閉校式では各班代表生徒が感想を述べた。

福祉について学ぶことで見識を深め、今後の生活観・職業観につなげて欲しいと思う。



作品と研究

今年もコロナ禍のため、中学3年生のオーストラリア語学研修旅行が中止となり、代替行事として、英語集中研修を実施し、バーチャル異文化体験をしました。その感想を紹介します。

この三日間の English camp を通して、たくさんのお話を学ぶことができました。とても楽しかったです。三日間で少し英語力がついた気がします。それとともに、自分の英語はまだまだということも分かりました。思ったことを思ったように伝えることがうまくできなかったり、書けなかったりしました。そこはちょっと悔しかったです。

自分が一番楽しかったのは、ニュージーランドの人とリモートでつなげてホームステイをしたことです。現地の方が家の中を回って見せてくださったり、質問に答えてくださったりしました。そこで、日本とニュージーランドではたくさんの相違があることが分かりました。特に家がとても大きくてびっくりし、自分もあいう家に住みたいと思います。また、お風呂の時間が5分間くらいだと知り、それくらいニュージーランドでは水が大切なものだということも分かりました。

最後のスピーチはとても緊張しました。でも、自分で考えて文章を作り、それを発表することができ、少し成長した気がします。外国の方と英語で話せるようになるという目標ができたので達成できるように、勉強を頑張りたいです。このような機会を設けていただき、有難うございました。

小野泰和 (中3・勉)

私は今回の英語研修を通して、テストや入試に関係なく、もっと勉強したい、話せるようになりたいと思いました。

中学生になってから2年ほど英語を勉強してきた、英語もだんだんと分かるようになってきました。今回の研修では、英語で話された内容が少しだけ聞き取れたとき、とても嬉しく感じました。Virtual Homestay では、ホストファミリーの家を見て、話を聞いたり質問したりすることで色々なことを学ぶことができました。ロールプレイングゲームでは、会話文を作ったり、作った文章で実際に会話をすることで楽しく英語が学べました。

3日間のうち、特に楽しかったのは2つのグループに分かれて行ったゲームです。黒板に書いた単語の数を競うゲームでは復習を楽しんでできて良かったと思います。早口言葉では、日本語の早口言葉の倍くらい難しく、全然きちんと言えなかったのですが、とても楽しかったです。

今回の研修では、英語の文章を書くことと発表をすることの二つをとても沢山しました。文章を作る過程では、新しい単語を調べて使ったり、今まで習った単語を使ったりしたので、すごく学びにつながったと思います。特にスピーチは、自分で原稿を作って、覚えて、発表をしなければいけませんでしたが、なんとか最後までやりきることができて良かったと思っています。

塩野莉菜 (中3・勉)

今回の英語集中研修の前に決めていた目標があります。それは「オーストラリアに行けなかった分も英会話能力を伸ばす」と「積極的に会話をすること」です。普段の英語の授業では、あまりしていないその場で英文を考えて言うという作業をすることができて楽しか

かったです。自分の思ったことを英語にして話した内容が伝わったとき、とても嬉しく感じました。だから、「英会話能力を伸ばす」という目標はよくできたと思っています。しかし、「積極的に会話をすること」は、あまりできなかったと思います。バーチャル異文化体験のとき、質問時間になかなか出ることができなかったり、質問をされても積極的に答えられなかったからです。僕はいつかイギリスに行きたいと思っています。そのときは英語で話すことが当たり前です。会話に慣れるためにも、間違えることを恐れずに積極的に話すことを心がけたいと思います。

今回、実際に海外へは行けませんでした。その違いを知ることができました。また、最後のスピーチでは、自分の作った文章で行きたい国の紹介をするという、今までやったことのない体験をすることができて、とても楽しかったです。今回、会話をして驚いたことがあります。それは、理由を聞かれて思ったことをそのまま言うことはできませんでしたが、似た内容で答えることができ、自分がそこまで英語で話すことができるようになったこと、これからの英語の力をもっとレベルアップさせていきたいです。

宗宮 証 (中3・勉)

今年オーストラリア語学研修が中止になり、実際に現地に行けてコミュニケーションをとることはできませんでしたが、その代わりに今回の英語集中研修とバーチャル異文化体験で、英語の学習を深めることができました。

最初、Caya先生と出会ったとき、とてもテンションが高かったです。27日までそんな感じでしたが、明らかに元気にコミュニケーションをとる

うとしてくださったので、すごくありがたかったです。バーチャルホームステイをしたとき、今まで日本とニュージーランドに時差があることは知っていましたが、途中で時計が写って、改めて時差があることに不思議な感じがありました。

今回もそうでしたが、外国人観光客に日本のイメージを聞くといつも「日本はとてもきれいな国だ」「日本食がとてもおいしい」「時間をしっかり守る」と答えてくれます。もっと日本人として誇りを持たさなと思いました。

今年コロナ禍のため、オーストラリアで実際にホームステイを体験できませんでしたが、今回の研修で十分外国のルールや文化を知ることができました。これからの時代、英語がとても重要になってくると思います。だから、このような体験ができたことに感謝し、今回学んだことを、自分の将来に生かしていけるといいと思います。

松浦志穂 (中3・勉)

高文連出雲地区絵画コンクール入選作品

今月の1枚

「影の向こう側」

定守 優芽 (中3・勉)

